

クイズの答え

Q 1 …… B

佐竹義宣はかぶとの前立てに、毛虫をモデルにしていたものをつけていたのです。なぜ毛虫かというと、次のような理由があるそうです。

- ①毛虫は葉を食べる。**葉**は**刃**と言い換えると、戦いの時に相手の刀の刃を食べてしまうほど強いということ。
- ②毛虫の動きを見てみると、前進するが**後退**はしない。つまり、戦いの時に決して逃げないということ。
- ③佐竹氏は源氏の流れをくむ一族です。そこで「けむし」とひらがなで書くと、「げんじ」と読むことができます。なぜなら「け」と「し」に濁点をつけ、「む」は昔「ん」と読むことができたからです。

Q 2 …… A

雪村は佐竹氏の一族として、今の常陸大宮市に生まれました。

雪村は雪舟を心の先生として絵を学び、室町時代の水墨画の世界では、とても有名な大画家になりました。

この写真の絵は雪村の自画像で、現存する日本最古の自画像と言われています。

Q 3 …… B

比叡山（ひえいざん）で天台宗を学んだ親鸞は、山をおりて浄土宗（じょうどしゅう）を開いた法然（ほうねん）の弟子になり、のちに浄土真宗を開きました。40歳から60歳ぐらいの間、おもに今の笠間市の稲田に住み、布教活動につとめ、多くの弟子ができました。

親鸞の教えは、広く武士や農民に受け入れられ、全国に広がっていきました。彼の教えをまとめた『教行信証』は、実は茨城で考え出されたものなのです。